

2020 年度前期「学生による授業評価」に関する検討会

報告書

学科科目以外の科目

目次

総合教養科目運営委員会	p. 1
総合教養科目<女性のウェルネス領域>担当者会	p. 3
キリスト教学科目運営委員会	p. 7
第一外国語運営委員会	p. 8
第二外国語運営委員会	p. 18
日本語科目運営委員会	p. 19
情報処理教育運営委員会	p. 21
教職課程運営委員会	p. 22
学芸員課程運営委員会	p. 23
女性学研究所（女性学・ジェンダー科目）	p. 24

報告日：2020 年 11 月 10 日

■検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：総合教養科目運営委員会

■責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：委員長 曾我芳枝

■検討会実施日 2020 年 10 月 21 日

■出席者数 5 名（内、非常勤講師 0 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

好評であったこと

- ・オンラインでの授業でしたが丁寧でわかりやすかったです。
- ・リアルタイム（Zoom）とオンデマンドの組み合わせで受講しやすかったです。
- ・リアルタイム授業（zoom）では Q&A コーナーを設けており、みんなが思いつく質問を聞けるのが楽しみでした。質問に対する答えも適切でわかりやすかったです。
- ・毎週ビデオを見る時間があり、ただ資料をみて学ぶよりわかりやすかったです。
- ・他の学生の課題を紹介してもらえたのと、資料が内容も形態も豊富だった点が特にありがたかったです。
- ・授業だけでなく、遠隔授業を行うにあたって必要な情報を色々と教えて下さって助かりました。
- ・資料の文章によっては難しいものもあったが、高校以来久しぶりに科学を楽しく学ぶことができ、科学に対する苦手意識が薄れました。
- ・資料や動画をまとめなおす課題が何度もありましたが、読むだけでなくまとめなおすことで、頭が整理され、より理解が進みました。この経験を参考に、他の授業でも「まとめなおし」を習慣化していきたいです。
- ・課題が出されてはいたが、やりやすい内容が多く先生の生徒への配慮がとても感じられました。参考資料やビデオもたくさんあったため、苦手な理系分野の話でもある程度理解できました。

学生からの要望・意見

- ・他の学生の課題を紹介してもらえたのと、資料が内容も形態も豊富だった点が特にありがたかったです。しかし一方で、資料が多過ぎて大変だったので、クラスルームにアップする際は番号ではなく内容をタイトルに付けて欲しいです。⇒資料のタイトルが番号よりも内容を示す方が良いというのはもっともなので、後期の授業から改善したいです。
- ・もう少しビデオの一回の時間が長いほうが整理して見るのができたかもしれません。でも、ビデオの途中で先生が解説してくださったので意外とすんなり理解できました。⇒飽きがこないようにと考え、ビデオの時間は短めにし、毎回の授業で少しずつ見るようにしましたが、まとめて見た方が良かったかも知れません。
- ・後半の授業期間には、同じ内容を何度も繰り返し学習したり雑談が多かったりと、授業の進みが遅いと感じることが多かったです。学期末にあまり課題を出さないでくださったことがありがたかった。⇒ポジティブなコメントもあったこともあり、雑談がつい長くなってしまった回もあったのは反省しています。内容の繰り返しは重要な部分だからだと思いますが、無駄もあったかも知れません。
- ・板書がもう少し多い方が良いと思いました。資料だけでなくスライドなどを使いながらの授業の方が良いと思いました。⇒板書とスライドに相当するまとめを資料から自分でできるようになって欲しいことは授業中に言いましたが、学生によっては難しいかも知れないので、与えることを増やしても良かったかも知れません。
- ・話のテンポが遅く感じられました。言葉と言葉の間をもう少し詰めて話していただけると、より聞

きやすいのではないかと思います。⇒授業中に言葉を選んで詰まってしまう場面も数回ありましたが、なぜそうなったか（なぜ言葉を選ぶ必要があったのか）を説明しても良かったかも知れません。

・授業の最初に授業自体には関係ない部分が長くてそこで飽きてしまったことが何回かありました。大事なことではあったのですが、もう少し短く話してくださるとよかったです。⇒雑談を興味深かったとコメントシートに書いてくる学生も多くいましたが、簡潔にした方が良いのは確かにそうだと思います。

・授業内で動画を再生されると zoom が不安定になることがありました。事前に各自で見られるようにしておいていただけるとよいと思います。⇒市販の DVD を授業時間外に見せるのは著作権上問題があるかも知れないので、確認が必要です。Google Classroom のようにアクセス制限があれば大丈夫だったかも知れません。

・授業に内容がもともとの歴史を把握したうえでの授業だったため、時代背景を理解していないとついていくのが難しかったです。⇒時代背景の調査を予習課題にしても良かったかも知れません。

・沢山の資料を提示して下さったのは関心にも繋がりが良かったのですが、課題も多いうえに資料も多くあると何から読めばよいか分からなくなってしまうので、何の資料が大事か優先順序を教えてくださいと幸いです。⇒優先順位は授業を受けた上、自分で考えるべきだと思います。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

大人数の授業における工夫について

・今回は遠隔で Zoom によるリアルタイム配信で行いました。授業環境は学生の方で PC やネットワークを整備して貰う部分が重要だったと思います。教員の側では、途中からオンラインサポーターがついてくれたので、Zoom の入室管理や休憩時間の注意喚起などを依頼できたので大変助かりました。

・Google Classroom などで、文字情報をもちいる形で質問・コメント&回答集を随時アップするのがよいと思います。

・今回は遠隔授業であるが、対面授業では座席指定をする、などが有効です。

・TA を活用することだと思います。対面授業のときでも TA をおいてほしいです。

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020 年 11 月 12 日

- 検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：女性のウェルネス
- 責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：女性のウェルネス領域責任者 平工志穂
- 検討会実施日 2020 年 10 月 20 日
- 出席者数 9 名（内、非常勤講師 6 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

今期はコロナの影響によってウェルネスも急遽遠隔授業となり、教員・学生とも試行錯誤しながら頑張った学期となりました。学生の皆さんから頂いた要望に対し、先生方が具体的な回答をお寄せくださっています。これらの回答内容を実施に移すとともに、遠隔授業のより効果的な授業方法について学内外の知見を学び、より良い授業を行っていきたいと思います。

学生の要望に対する具体的な回答

- ・提出した課題に対するフィードバックが欲しいです。
→提出された課題で見られた質問や疑問点、理解しにくかった点に対しては、個別に対応するか次回授業で解説や回答をしていますが、各提出課題に対しても点数またはコメントでフィードバックを行います。
- ・先生の Zoom のマイクの雑音がずっと入っていてすこし聞き取りづらかった。
→PC 本体のマイクを使用していたためにノイズが入り授業が聞き取りにくく申し訳ありません。後期はヘッドセットマイクを使用し雑音を抑えるようにいたしました。
- ・Zoom を利用したトレーニングがとても楽しかったので、もう少し増やしてほしい。
→後期は運動やトレーニングの時間を増やしていこうと思います。
- ・発表のお題によってあまり言いたくない言葉を使う必要がある人とそうでない人がいて言わなければいけない人は少し可哀そうだと感じました。
→発表のテーマによって（女性の身体の構造の説明や泌尿器系の疾患の説明の場合等）は、日常生活で話す場合には少々抵抗があるかもしれませんが、授業だからこそ学べる・話せる機会であると考えていただき、身体を知るために医療や解剖学の専門用語として捉えてほしいと思います。どうしても抵抗がある場合には、テーマを変更することも可能ですのでメールで相談してください。
- ・授業内容に関しては専門的な用語が沢山出てきて情報量も多かったので少し難易度が高かったです。
→テーマについて現象や方法の紹介だけでなく、なぜそう言えるのか、理由や仕組み、メカニズムから理解してもらうために説明を多くしていますが、難しいと感じる内容があるかもしれません。その場合は授業中のチャットや授業後の感想課題内で遠慮なく質問をしてください。理解できるよう具体例などの説明を増やします。
- ・前期の授業に対して「課題が多い」という意見がいくつもありました。
→後期は、提出物を減らしつつ授業の質が落ちないように工夫します。
- ・実技課題に対しての実施報告を偽造している人がいるのがよくない」という感想がありました。
→提出物については、最初からかなり注意して見ていたので、膨大な時間を要しましたが、偽造もある程度見抜いています。しかしすべてを見抜くことはできないので、後期は課題の出し方を変更します。
- ・授業後の weclass での課題の出し方の指摘（期限が短いなど）がありました。こちらも初めての

経験で、扱いにも慣れないため混乱しました。後期はこのような混乱がないようにします。また zoom による授業では、こちらの説明がうまく伝わっていないこともありましたが、受講者の反応が見えにくいこともあります。より丁寧に、うまく伝えていきたいと思えます。

・授業の展開が早いと感じている人がいました。Zoom の展開速度がわからなかったため事前に、もし早い場合は途中で言ってくださいとアナウンスしましたが、やはり言いにくかったかもしれません。事前の配布資料に目を通して進めていきましたが、展開に注意しながら行きます。

・一時間の授業の中で、全員とコミュニケーションをとることや、資料や映像を用いる点がよかったという評価でした。この方法に加えて、後期は実技科目なのでからだを動かすことを増やしていきたいと思えます。

・レポートの案内がざっくりしていて、どこから文献をもってこればいいのかよくわからなかったため、参考になるものを少し上げていただければなと思えます。

→参考文献などの紹介が少なかったため、もう少し詳しく伝えたいと思えます。

・家族や近所への迷惑になるため、家の中でジャンプやダンスなどの激しい運動を行うことが出来ない。後期ではその点を考慮してほしい。

→それぞれの受講場所の環境により、困ることもあると思えます。運動内容を工夫したいと思えます。また、無理をせずできる範囲で動くようにしてください。

・期末レポートが極めて負担になりました。ほかの授業よりも字数が多く困りました。ウェルネスがこんなにも負担になるのはおかしいと思えます。

→レポートはずいぶん前から出し、締め切りまでの期間を長く設けていましたので、早めに準備してほしいと思えます。この授業は、実習と理論（講義）の統合型の授業となっています。理論もしっかり学び、考えなどを記述できるようにしてもらいたいと思えます。

・先生の声から動画の音声になった際に、動画の音量が大きいので、切り替えた際は動画の音量を少し落として頂けると嬉しいです。

→他の学生に聞いたところ音量の変化はあまりありませんでしたとのことでした。ご自身のパソコンの設定も見ることで解決するかもしれません。

・Zoom が落ちてしまうことがあったので落ちてしまったときや、落ちないように対策をしてほしいです。（講義授業）

→落ちないように対策を立て気を付けていきたいと思えます。

.....

学生に好評だった点

・自粛生活やオンライン授業により運動不足になっていたため、授業内で軽い運動を行うのはとても良かったと思えます。

・自粛期間で外に出る機会が減った中で授業の最後にストレッチをいれてくれたのは、運動をする機会となり助かりました。

・女性に関することを多く学べた授業で大変役立った。

・自分では調べたりしないような病気や体に関する内容を、皆さんの発表や講義から学ぶことができ良かったと思う。

・学生がパワーポイントでテーマについて発表するという形式が良かったと思う。先生の一方的な授業がオンラインでだとしても飽きてしまいがちだが、いろんな学生の発表の仕方、パワーポイントの作成の仕方なども知れて、参考になることもあったし、より授業のテーマに関心を持てた気がする。

・プレゼン発表が楽しかった。

・発表は非常に緊張しましたが、みんなにわかりやすく伝えられるように書き方やレイアウト、図を

使ってみようなどの工夫をするということとはとても勉強になりました。また体の病気についても知らないことをたくさん学ぶことができ非常に刺激になりました。また栄養バランスの講義で自分の食生活を可視化できたことにより、自分自身の問題点を見つめなおすことができ、今も継続してその時に気づいた問題点を克服しようと続けています。

- ・課題の量が適量だった。
- ・パワーポイントも見やすく授業もわかりやすかった。
- ・授業で使用したパワーポイントを配布してくださったので後で見直すことができ良かったです。
- ・講義形式での Zoom は生徒を考慮して時間短縮の授業でとても良かった。
- ・先生が優しく、授業もわかりやすかったので楽しかったです。
- ・一度先生に発表の内容のわからない点をメールで質問させていただいた際、資料付きで詳しく説明をしてくださったり、毎回学生からの質問の回答を次の授業で行っていたので、とても親身になって教えていただいた印象があります。身体のことについて、周りの人に聞きづらいことでも、何か困った時には相談してみようと思いました。
- ・否定的な意見・要望はなく、「ウェルネスが対面で出来ないとなると一体何をやるのかと思っていましたが、自粛中に適した授業内容でとても良かったです。授業動画も丁寧に作られていて分かりやすかったです。」「課題が家の中であまりものを使わずにできる運動である点が良かったです。また、しっかりとしたフィードバックがあり、内容理解が深まりました。」などの好意的な意見があった。
- ・「オンライン授業でも座学だけでなく、運動する機会が持ててよかった」という内容の感想を複数いただきました。講義と実技の両方を充実させようとする、やはり課題が多くなりがちですが、皆さん自分の健康のためにとてもがんばってくれたと思います。
- ・自宅で決まった時間にしっかりと運動できたことが良かったです。また、運動器具を用いて行うスポーツも、ビデオを観ながら行うため、道具を用いているイメージを存分に膨らませて楽しく体を動かすことが出来ました。
- ・最初は、オンライン授業の体育がどのように行われるのか不安でしたが、授業時間内に体操やダンスを取り入れて下さりとても楽しかったです。また、先生の話している様子を見ながら授業を受けることが出来たので退屈することがありませんでした。後期もぜひこの形式でお願いしたいです。
- ・遠隔授業でのウェルネスでしたが、私たちが体を動かせるように出来る範囲で教材を提供していただいたので、座学だけでなく実技も楽しめて良かったです。
- ・授業の始まりと途中でストレッチの時間を作ってくださったのがとても良かったです。ぼーっとしていることもあったのですが、お陰で頭がスッキリさせることができました。(講義授業)

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- ・提出した課題に対するフィードバックについては、提出された課題で見られた質問や疑問点、理解しにくかった点に対しては、個別に対応するか次回授業で解説や回答をしています。各提出課題に対しても点数またはコメントでフィードバックを行います。
- ・Zoom 授業時のマイクの雑音について、PC 本体のマイクを使用していたためにノイズが入り授業が聞き取りにくく申し訳ありません。後期はヘッドセットマイクを使用し雑音を抑えるようにいたしました。
- ・Zoom を利用したトレーニングやエクササイズを後期は増やしていきます。
- ・授業内容に関して、メカニズムや仕組みの説明のために専門的な用語がでてくることがあり、難しいと感じる内容もあるかもしれません。理解しやすいよう具体例などの説明を増やしますが、授業中のチャットや授業後の感想等を利用して遠慮なく質問をしてください。

- ・授業改善の具体的方策として、健康づくりのための講義と実技を実施するにあたり、ZoomとGoogle Classroomの割合を、後期は、前期とは変えることにより、提出物を減らす試みを行います。
- ・実技課題に対しての実施報告の提出物は、偽造を見抜けない可能性もありますので、動画を送ってもらうなどの提出方法を取り入れたいと思います。
- ・ウェルネスの遠隔授業として、自宅やその周辺でできる運動課題を作成したが、学生が志向や体調に応じて選択できるよう、できるだけ多様な課題を作成していきます。
- ・毎授業の最初にブレイクアウトルームで学生同士の交流を行うようにしたことは、受講者同士の交流に役立ったという意見がありました。
- ・Zoomでの授業でしたので、わかりやすく伝えられるよう、パワーポイントの作成に工夫をしました。見やすいように、内容の充実はもちろんのこと字の大きさなど工夫し、写真やビデオも多く挿入し、飽きないようにしました。
- ・始めに心と身体のためのウォーミングアップと、30分ごとにリフレッシュ体操を取り入れ、身体や目の疲れなどをほぐしながら授業を展開してきました。このことにより多くの学生からとても良かったという感想をもらいました。
- ・教官が一方向的に話すだけでなく、双方向対話型の授業になるようにより一層の工夫をしたいと思います。例えば、教官と学生、学生同士が積極的にコミュニケーションをとり、一つのテーマについて議論し、そのなかで結論を導き出して発表するような授業を展開したいと思います。

.....

- ・前回の報告書では、「グループワークや発表等を通じて身体や健康の理解を深め、運動やスポーツをより楽しく取り組める授業を展開する」と記述した。遠隔授業においてもグループワークや発表をとり入れることは身体や健康の理解に非常に効果的であった。集団スポーツはまだ実施できないが、遠隔授業においても取り組みやすいエクササイズ等の運動実施機会を設けていく。

「2020年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020年10月23日

- 検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：キリスト教学科目運営委員会
- 責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：遠藤勝信委員長
- 検討会実施日 2020年 10月23日
- 出席者数 3名（内、非常勤講師 0名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

- ・授業が一方通行にならないために、チャットで質問を受けつけたり、毎授業毎に提出してもらったコメントシートにコメントと評価を添えて返却するよう心掛けました。オンライン授業での学生の集中力を保つため、レジメや資料（文字、音声）を工夫したことが、皆さんの受講の助けになったようです。
- ・キリスト教学のクラスの受講にはじめ不安を覚えた学生も、授業が進むにつれて、誤解や偏見から解放され、興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢が感じられました。疑問点があればいつでもどのようなことでも気軽に質問してください。
- ・学生の中には、キリスト教に対する誤解や偏見を払拭し、積極的に学ぶことができた方が多くいた一方で、最後まで馴染めず、消極的な姿勢になってしまった学生が僅かばかりおられました。対面授業が可能となった暁には、もう少しの対話の機会をと願っています。
- ・授業で用いた資料（Power Point）をPDFファイルにしたものをGoogle Classroomで配信しましたが、文字が小さ過ぎたようですので、改善したいと思います。
- ・毎回のコメントシート提出という課題が重いと感じた学生がおられました。しかし、この課題のおかげで授業の良い復習と纏めとなったという感想の方が多くありました。少々時間を取るかも知れませんが、その努力は必ず報われると信じ、励んでください。
- ・質問時間が短かったという感想がありましたので、後期は長めに持ちたいと思います。
- ・教員の話し方について、丁寧な説明と感じた学生と、もう少し要点を絞って欲しいとの要望もありましたので、工夫したいと思います。
- ・Power Pointの画面送りのスピードをもう少し遅くして欲しいとの要望があったので、今後気をつけたいと思います。
- ・グループディスカッションができる機会が欲しかったとの要望がありました。対面授業となった暁には、工夫したいと思います（オンラインでも実施は可能のようですので、教員側の学習も必要ですね）。
- ・今回は期末試験をWeb Classで行いましたが、タイピングの早さで解答内容に差が出てしまったようですので、後期は期末レポートに切り替えます。とはいえ、全体の成績は例年に比べて良好でした。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- ・配布資料の文字の大きさを、読み易いものに改善します。
- ・授業内での質問時間を増やすよう工夫します。
- ・タイピングの早さで解答内容に差が出てしまったようですので、後期は期末レポートに切り替えます。

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020 年 10 月 23 日

■検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：第一外国語運営委員会

■責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：塩原 佳世乃委員長

■検討会実施日 2020 年 10 月 8～18 日

■出席者数 25名（内、非常勤講師 21名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

（以下、特にポイントと思われる部分に下線を引いてあります。）

・音声・ビデオを全く使用せず、時間内にメールで授業内容を送信する授業でしたので、想像した通り「メールだけのやり取りだけでは不安な時があった」「一方的にメールで送られてくる授業で、顔も分からない先生の授業を受けるのは不自然だった」「メールでの講義は授業を受けているというより自主学习であるように感じた」というコメントがありました。同じこと（授業の方法）ですが、「zoom などを使って欲しい」というコメントがありました。

→ 後期からメール配信の授業の後に zoom での「質問コーナー」を設置し、顔を合わせる機会を設けることにしました。

・同じ授業を受けていても、学生によっては（不自然と感じつつも）、「受講している授業の中で一番分かりやすく、zoom でなくても先生とのコンタクトが取れた気がして良かった」「先生がテストの振り返りに対して一人ひとりにコメントを付けてくれたり、生徒とのコミュニケーションを図ろうとしてくれたのがありがたかった」「授業時間外の質問も丁寧に対応してくれ、慣れない環境での授業でも安心して受けることができた」というコメントもありました。

→これはメール配信というこちらの事情による授業のせめてもの補いに、私の方で学生からのメールを常にチェックし、WebClass の学習カルテを使ってなるべく一人一人にコメントするように心がけたためと思われます。後期もこれは続けていきます。

・この授業の準備（予習と復習）に時間がかかったことや、最終課題がレポートだけではなかったことにたいして、負担が大きかったという声がありました。

→ 評価方法は、対面授業でのテストができないため、平常点重視でした。受講する側もそれはわかっていたはずですが、実際には準備に時間をとられたのだらうと思います。後期は課題の分量を若干減らし、負担を減らそうとしています。

・「読解力や要約力の向上は実感したが課題が多すぎるので減らして欲しい、WebClass でのテスト時間が短すぎる」

→ 既定の時間よりもずっと短時間でテストを済ませてしまう学生も多く、また課題をこなすうちに実力が伸びていることを実感できている学生は課題への取組みがより積極的になります。課題量を減らして欲しいという声に対して、後期は毎回の課題提出ではない方法で学習の成果が上がるように工夫します。

・「課題の評価は示すべき」

→ 授業中に毎回提出の課題の評価について学生に説明し、グレード評価を明記するかどうかを皆に意見を求めました。結果、課題には必ず個別にコメントを記しているのをそれをグレード評価の代替とすることになりました。

・「課題と返却で授業が完結しているため、同時双方向授業の意味が感じられない」

→ 対面授業では個々の学生の表情や発言内容で理解度がその場でわかるのですが、遠隔授業では見えないため、また1年生ということもあって理解度を確認するために毎回提出された課題に一人一人にコメントをつけて返却しました。が、授業はそれで完結していません。可能な限り、対面授業に近い授業を目指しました。特にクラスメートとのグループディスカッションや全員が一斉に WebClass でテストを受け、再び授業に戻って答え合わせをする、その場で質問に答えるなど、一人で授業を受けているわけではないという感覚を学生が持てれば、後期に対面授業が実現した場合の前段階となると考えました。

・「テスト時間がオンラインでは明確に定められていないのは不平等だ。遅れて授業に戻ってきた人は長く回答していることになるので平等にしてほしい。」

→ 後期の授業内で WebClass のシステムの説明を再度したいと思います。皆平等に同じ時間内でテストを受けられるようテスト時間はあらかじめ設定しています。その時刻を過ぎるとテストは受けられないシステムです。授業に遅れて戻ってきた人はテストの回答をしているのではなく、何らかの通信トラブルか用事のために再入室が遅れていると思われる。これは遠隔授業によって起こっていることなので認めたいと思います。

・「要約を具体的にどうするのがよいかがいまいち掴めなかったので、模範例を示して欲しい」

→ はい。後期は毎回模範例を示します。

・「不安が多かったオンライン授業であったが、学生側の通信環境に配慮してもらえて安心した。」「パワーポイントが分かりやすくオンラインでも戸惑いがなく理解できてよかった。」「担当教員とのコミュニケーションもとれて、あまり対面と変わらない形で受講出来て内容が身についた気がする。」「受講生全員に回答する機会が平等にあったので良かった。」「グループでの作業ができる機会があればさらに良いと思う。」「定期的に Google Classroom での小テストがあったため、こまめに復習することができてとても良かったと思う。」

→ 私自身コンピュータ操作に不慣れで、それまではパワーポイントを対面授業で利用することもなかったのですが、なるべく学生も私も不安とストレスのない形で授業を行いたいと考えました。パワーポイントにテキスト本文を分割し、さらに対応する音声ファイルも分割して挿入し、テキストの問題演習もテキストの該当ページを拡大・分割し、さらに学生を指名して解答の確認をしつつ、アニメーション機能で正解がパワーポイント上に現れるようにしました。慣れていच्छる方には何ということのない作業だとは思いますが、ZOOM で急に画面が固まりなかなか次のページに遷移しなかったり、学生が遅れてきて入室する際に、パワーポイントも一時操作不能になったりと小さなトラブルが毎回あり、ひやりとしたことが多々ありました。学生の通信トラブルで、私の声は届いていても学生側のマイクが通じないことも多々ありました。そのようなときはチャットを利用したり、状況によっては学生が恐縮してストレスになるかもしれませんので、「大丈夫だから気にしないように」と十分にこちらからの声がけをしました。

やはり学生のストレスになる可能性がある于是他大学で伺い、学生にはビデオをオンにしなくても構わないと伝えました。他大学では「絶対にカメラをオンにさせないように」とのご指示をいただいていると

ころもありましたので、学生の表情が見えなくても、こちらから元気な声を出し、学生の声からその日の様子に気を付けるようにしておりました。もちろん私はカメラをオンにしておりました。

・ZOOM 授業が多かった中でスライドによる授業であったため、まずその点において他の授業に比べて見劣りがしたようです。クラス替えをして通信状態に問題がある人を一クラスにまとめて、その人達以外は ZOOM にするべきという意見がありました。もっともだと思いました。

Google Classroom もよくわからないままに使い始めなければならない状態でしたので、失敗も多く、その点は申し訳なかったと思っています。

・「英文の読み方などを丁寧に教えてくれたり、分からなくても責めないで一緒に解いてくれたのでよかったです。改善すべき点は特にないですけど、Google クラクルームの方が開く頻度が多いので、課題の提出し忘れなどは減るかなと思いました。」「緩すぎずキツ過ぎずちょうど良い授業だった。オンラインで十分理解もできるし困ったことのないので、後期もオンラインでお願いしたい。」

→ Zoom と Webclass を使用しました。Webclass に厳しい時間制限があったため、後期は授業内のみで使用するようにいたしました。学生は本当に不便を感じたと思います。

・「Reading において重要なことをたくさん教えてくださり、非常に自分の身になる授業でした。テキストで扱った内容に関連する記事を演習でできたのも良かったです。Book Report やコメントペーパーにもフィードバックしていただき、コミュニケーションが取れたので、良かったです。元気付けられる授業でした。」「book report を通してタイトルの書き方などを教えていただき、充実した授業が受けられました。また、毎授業コメントペーパーに対して的確なアドバイスをしてくださってモチベーションが向上し、毎週の授業をいつも楽しみにしていました。」

→Webclass と cis メールで質問や不明点があればいつでも受け付けました。毎授業後にコメントを入れてくる学生から、全く音信のない学生までそれぞれでした。

・「進行手順がわかりやすいため準備もしやすかったです。次回予告も丁寧なので毎週不安なく講義の時間を迎えられました。」

→ 教える側も学生も、初めてのオンライン授業に大いに戸惑いながら試行錯誤の前期授業でした。対面授業よりもはるかにエネルギー消耗するオンライン授業でした。授業中の学生達の理解度が見えないのが、私には何よりの不安材料でした。

・「Web クラスだと課題が気付かないことがあった。授業後すぐに来週までの宿題の知らせを出してほしかった。」

→ 前期は Web クラスのアクセス時間帯が限られていたこともあり、時間を置いてからの掲載になることがありました。課題については授業中に口頭でお知らせしていますが、Web クラスにも掲載すると知らせてありました。遅れるときはメールも出すようにします。

・「オンライン授業なので聞き取りづらいことが多々あったのが残念…「オンラインゆえ」なのはわかっていますが。」

→ 授業で聞き取りにくいときは、躊躇なく知らせるよう周知し、また適宜、音声の届き具合を確認するようにします。

・「丁寧にスキミングやスキヤニングなどを学べて良かった。」

→ エッセイの構成、structure を理解した上で main ideaなどを把握しやすくなってきましたね。

・「遠隔授業に不安があったけれど理解しやすかった。」

→ テキストや問題の答えなども「画面共有」でフォローしていきました。

・「文章を読むうえでどうすれば簡単に本文のトピックや大切な部分を見つけられるか、という点を学ぶことが出来ました。」

→ エッセイの構成、structure を理解していくなかで、テキストに沿ったストラテジーが身につけてきて良かったです。

・オンラインで様々なトラブルがあっても配慮してくださり、気にかけてメールをいただいたりしたので安心した授業を受けることができました。分からない点も丁寧に解説してくださってよく理解できました。

→ 遠隔授業という限られた時間内でいかに授業の質を維持するかを考慮しながら組み立てたため、その点が伝わっていたことが感じられました。後期の指標にしていきたいと思います。

・「授業内課題の時間が足りないので、提出期限を当日 23 時 59 分などに変えてほしい」「提出課題が 30 分でやるには重く、間に合わないときが数回あった」

→ 前期の授業は、Zoom 授業を約 1 時間、その後 Google classroom に移動して予約投稿による課題を提出、という形をとり、授業内課題の期限は授業の終了時刻としていました。前期中に、授業内課題は授業中に皆で確認したことを課題にしているので提出期限は目安にしてほしいことを伝えており、提出遅れによる減点はしないことを周知していました。それでも、Zoom 授業の時間が 1 時間を少し過ぎてしまい解答時間が短くなる時があったこと、そして課題が毎回記述式であったため慣れないドキュメントで記述するのに時間がかかったことも不安の原因であったのかと思われます。後期はアンケート回答を参考にして、必ず 30 分間の授業内課題の時間をとることと、時間内で答えられる課題を作るので授業時間内に無理なく提出しようということを伝えました。今後も課題提出状況に気を付けて、意見を聞いていこうと思います。

(以下、学生からのコメントの英語は原文そのままです。)

・ "The teachers way of speaking was easy to understand"

→ I made a conscious effort to slow things down and constantly check for understanding. This was as a result of common problems teaching online can provide.

・ "We appreciated being given a break during the class"

→ I made an effort to break up the class at some point just so the students could reset their minds. They have extremely heavy schedules with almost all classes using Zoom. Quality over quantity.

・「授業の流れがとても良かったと思います。学生たちみんな発表に夢中になるくらい、とても楽しい授業です。しかしながら、学生たちが発表をする時、真っ先に手を挙げても順番が後になることがたまにありました。その点に少し不満がありましたので、改善して欲しいと思いました。その点を除いては、とてもアクティブで一番楽しい素敵な授業だと思います。」「先生がゆっくり話してくださったので、普段あまり英語に触れてこなかった自分にとっても聞き取りやすく、助かりました。」「毎回の授業

でブレイクアウトルームを使用し、クラスメイトと話す機会もあったので楽しんで学ぶことができました。」

→ Students were very active and competitive. They all seemed to have enjoyed the class.

• Everyone speaks equally, so I was conscious of speaking in English. In addition, the group discussions allowed students to answer and discuss issues with each other, which deepened their understanding.

→ Thank you. We will increase time spent in group discussions.

• Since there were many group activities, we were able to hear and discuss with each other what kind of answers we had and what we thought, so we were able to participate in the class with peace of mind.

Thank you !!!!!!!

→ Yes, the textbook is student-friendly and I ask everyone to have the camera on so that everyone keeps to be engaged in our discussions.

• I had many opportunities for group work and speaking, so I think I have improved my English. I tried my best to understand the teacher's words, so I think I also had listening skills.

→ Opportunities for group work and speaking are central to my teachings, I will keep increasing this area.

• In the break out room, we didn't communicate in English, so I wanted to speak English more. I want to know how you give us our grades.

→ I will check on your breakout room more in order to encourage everyone to speak in English. Grading system is written in the syllabus. Please read the syllabus carefully.

• The level of text was just right, neither too easy nor too difficult. I made sure that everyone spoke in one lesson, and the camera was always on, so I think everyone was able to actively participate in the lesson.

→ I am glad that you enjoyed the class. Yes, the textbook is student-friendly and I ask everyone to have the camera on so that everyone keeps to be engaged in our discussion.

• “It was good to have time for discussion in every class”.

→ With remote teaching I took the opportunity to use a flipped classroom approach in this class, so students were expected to complete the work in the textbook, such as answering comprehension questions, learning new vocabulary etc outside of the class time, enabling us to have more time in class for language production through a variety of speaking activities and tasks. I am glad that the student specifically mentioned that in her comment and I will continue to give students ample time for discussion in this semester's classes.

• Students seem to really like the time spent practicing in the breakout rooms. One student told me personally that she felt she could speak out more in a breakout room than in a traditional classroom. She said that in the breakout rooms she was not distracted by noise of others talking (or chatting in Japanese) at the same time as happens in a traditional classroom. In addition, several students said that they felt less shy to ask questions when they were in small groups with the teacher. Also, they mentioned that the teacher's explanations in the small groups were easier to understand in the small groups. One student

mentioned that she felt frustrated if there was a student in the group who did not participate and that participation points should be stressed as being as important as doing a report and should be more closely monitored by the teacher. However, they were divided on one point: the allocation of groups. Most students liked having the same group members over a couple of classes. They stated that they felt they could deepen relations with other students despite not being on campus and they appreciated this; whereas a smaller group preferred to have new group members to speak English with every week.

- Good points : All the students were given the right to speak. Points to be improved: All the students (20 or more) were told to turn on the video for 90 minutes, so the ZOOM screen said "Net bandwidth is low. The voice of the important teacher was interrupted. I wanted the students to have a rule to turn on the video only when they speak.

→ Sometimes there are technical issues, particularly with a big class, however we must try to keep the video on so that everyone can be engaged in our discussions. Please let me know when you see technical issues. I will help you.

- Most comments were favorable – enjoyed the class, were able to make friends thanks to the small group discussions in Breakout Rooms on Zoom, teacher had good method of conducting class, felt their English speaking and listening skills have improved, felt more at ease speaking English. Two criticisms: Posting of assignments in the beginning of the semester was not clear – when it was necessary to submit their work and when it was not. Teacher should tell students when they can turn off their videos, as wifi is less stable when all students cameras are on.

→ I am happy everyone is enjoying classes on Zoom and working together in small groups in Breakout Rooms each week. I have clarified the homework posting each week (it was a mistake early on when I was still learning how to use Google Classroom). I will be sure to tell students that if their wifi is unstable, to feel free to turn off their videos.

- Most comments were favorable – could make friends, enjoyed exchanging experiences in English in weekly warm-up, liked small-group work, teacher was helpful, spoke understandably, and teaching method made them feel at ease. Breakout Rooms are great for talking to each other freely, were gratefully able to communicate with people during COVID-19, amount of homework and preparation was just right, having classes online is going well under the circumstances, so should continue next semester. Criticism (made by 2 students) – sometimes the class went a few minutes overtime, so teacher should make an effort to always end the class on time.

→ I am so glad students overwhelmingly enjoyed the online class experience and made friends, and felt confident practicing English in Breakout Rooms. I apologize for sometimes ending class a few minutes late and will try not to do that again.

- After reviewing the class surveys conducted from the spring of 2020, I recognized some interesting data and comments from my students. The biggest impression I got was that the results and the comments didn't seem much different than they used to be prior to teaching remote classes. In my case, the numbers indicated that the teacher (me) was clear and helpful with audio visuals, helped student understanding, helped answering questions, and that the students had an overall satisfaction with the class. My numbers were high in that regard. I did notice that in a few comments, students were hoping

for more interaction with other students. I always tried to get them speaking to one another a lot but maybe for some, they weren't meeting others enough or didn't feel that the partners they met provided them enough interaction. My goal this semester (=the second semester) will be to increase their collaboration and get them to interact with me more as well. To increase the effectiveness of their interaction with one another, I like to hold them accountable for the activities they do in class. Whenever they complete a task that involves interaction, they need to report what they heard from their partners onto a google sheets. I then can check for their participation in break-out rooms. After that, they need to be ready to report to me what they learned from their partner or group members. I applied this strategy last semester as well, but I plan on doing it even more this semester. What I have noticed from this school more than any other school I work at is that these students are very eager to learn and give a lot of effort. Whatever I seem to give them, they always seem to give a strong effort and have very good attitudes. Finally, with regard to their learning outside of the classroom, I believe it is very important to assign homework that ties in with the topics being covered in class. I always like to get them to brainstorm a certain topic one week in advance, so when they get to class they have some familiarity with what will be discussed. Again, whatever they need to research will be documented on google sheets and then given time in class with partners before we start in on a lesson. Google sheets provides me as the teacher a very convenient and easy way to gauge their participation and ensure they are contributing to the class.

- I was honored to be in your class. I could do much more assignments for writing essays but, taking time to develop my essay better was essential to prepare for the best essay. Hope I can see you face to face at school till my graduation.

→ I am happy to hear that you enjoyed my class. I will keep providing the time necessary for you to draft your essays and provide feedback that helps you with improving your writing skills.

- There were many situations where it was difficult for foreign teachers to hear through zoom. I was very anxious because I couldn't ask anyone in a situation where it was difficult to hear because there were no slides during the guidance and the students did not know each other. Also, when there was a question and answer session between students, it was difficult to hear, so I thought that there was a limit to distance learning.

→ When it is difficult to hear my voice please let me know and I will do my best to adjust the microphone. If you feel anxious please let me know in private message or email and I will help you.

- "It's the first time for me to have online classes. I have machine problems or it's sometimes confusing, but the teacher understood and was very flexible, so it was very good."

→ Thank you for your comment! This experience has been new for everyone and has come with many challenges, so I am glad you have been able to overcome them. It's been a good learning experience.

- "I wanted to have more conversation with teacher. Sometimes the teacher jumped in our breakout room but it was short time to stay there. Please stay longer and join our conversation."

→ Thank you for your comment! One of the challenges of breakout rooms is that there are many rooms if the class is large and each room consists of pairs or triads, so it is impossible for the teacher to stay in any single room for a long time. However, I definitely agree that it is valuable for the teacher to be

included as much as possible in the breakout room conversations and I will consider ways to extend it. I would also encourage you to make comments and ask questions both in the breakout rooms and the main session to have the opportunity to engage with the teacher and other students as much as possible.

・ All responses were favorable – they enjoyed the textbook I chose to use for the course, felt they learned a lot and got better at making presentations, enjoyed making new friends with their classmates, and said the teacher provided good guidelines and other materials for the course. One criticism and suggestion – Sound quality of the listening quiz audios was sometimes poor through Zoom. (No one spoke up during the semester, so I was unaware of this problem until I got the comment on the evaluation.)

→ I am delighted that the students enjoyed the class so much! I gave them lots of feedback on each of their presentations and hope they all feel my advice and coaching helped them. I saw improvement in everyone's presentation skills over the course of the semester. Ten students from the spring class are enrolled for the fall class, as well. With eight first-time students, we have a great mix! Regarding the poor sound quality of the audio to the listening quiz through Zoom, this semester, I will begin sending each student the link to the audio so that they can open it on their own device. I hope this avenue will improve the quality of the sound for all students.

・ 「先生がパワフルでエネルギッシュで、朝から元気をもらえた。ジェンダーや政治など、難しいが自分たちに深く関連することについて、英語で毎週スピーチを行うことにより、自分の学問見識も深められた。発言にミスがあればすぐに直接訂正してくれるし、良かった点もたくさん褒めてくれる。すぐにフィードバックをもらえるのはとてもありがたい。先生が学生に対し、深い愛情を持っている。学習だけでなく、生活や人生の方針についても、多くのヒントを貰えた。」

→ This class make me more enthusiastic to get opportunity of speaking English. To improve my skills, I want to continue this class next semester.

・ 「非常に楽しい授業でした。先生が間違えてもいいから恥ずかしがらずに発言してみな、と言ってくださったことで、自分から英語を話すことに対して自信ができました。レポートも毎回添削してくださったことで、書く力も身に付きました。この授業を履修して本当に良かったです。」

“I felt I was not good at English. However, I feel that I have grown though reports, classmate speech, and my own presentations. Thank you very much.”

→ Due to the pandemic, classes were conducted using Zoom. Students sent in their writing assignments which were corrected and edited by the teacher. The assignments were graded and returned to the students before the next class. Every week, in the class, 5 students would give their presentations. After each presentation, other students would ask questions or give their own comments or share their opinions. Each time they spoke, they would score points accordingly. This helped to encourage students to actively participate in discussions, share opinions and comment on each other's presentations. Personally I found this class very enjoyable. The students were lively and very competitive.

・ 使用教材に間違いが多く解答解説が付属しないため学習しづらかった。

→ 教材の誤りについては、正誤表を配布しました。また、解答・解説が付属している教材については、自学自習向けですので授業での使用には適切ではないと考えています。

・リーディング、リスニングの詳しい解説、スピーキング、ライティングの添削がどれも分かりやすく、自分の課題を見つけることができたので、良かったです。改善すべき点としては、解答も資料としてアップされていると、解答と一緒に自分なりにメモをつくることのできるのでもいいかなと思いました。

→ 解答は授業で説明しているので資料化はしません。授業でしっかり聞いてメモを取って下さい。

・試験時間についてですが、解く上では確かに指定された時間で適切でした。私は手元に印刷したテスト問題を用意し、書き込みながら解きたかったのですが、そうすると紙に書いた答えを PC で記入する際にそれによる時間が取られてしまい、結果時間が少々足りなかったです。もう少し多めに時間を取っても良いのではないかと個人的に思いました。

→ 試験時間については、遠隔での試験実施であったこともあり、設定に困難な面もありました。ただし、オンラインでの試験ですので、試験問題への書き込みを前提としない設定であったことを了承願います。

・解答がない教材で学習しづらかった。時々文法事項の説明に違和感があった。

→ 解答が付属している教材については、自学自習向けですので授業での使用には適切ではないと考えています。また、文法事項の説明に対する違和感というのがどのようなものか、この記述のみからでは判断できませんが、少なくとも誤った説明はしていないと考えています。違和感を覚えられた際、授業後などにも質問してくれるとよかったと思われます。

・教科書を最後までやり終えてほしかったです。

→ 残念ながら最後のユニットまで時間をかけて扱うことはできませんでしたが、扱えなかったユニットについては、解答等をファイルで配布しましたので、自習の上、活用してください。

・テキストを変えてほしい、公式の過去問にしてほしかった。

→ シラバスにも示している通り、この授業では単なるテクニックとしての IELTS 対策を行うのではなく、総合的な英語力の向上を目指しています。そのため、過去問演習的な授業にはならないことを理解していただきたいと思います。

・国際英語学科で IELTS 受験が必須なため受講しましたが、IELTS のためだけでなく、自身の英語力アップにもつながったと思います。課題が少し多めで大変な時もありましたが、なんとか取り組むことができました。ありがとうございました。

→ 課題の分量については、受講者の英語力にばらつきがあるため、適切な設定が難しい面もありますが、頑張って取り組んでくれた成果は必ず英語力のアップにつながるものだと思っています。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

・音声・ビデオを全く使用せず、時間内にメールで授業内容を送信する授業だったので、想像した通り不満を訴えるコメントがありました。後期からメール配信の授業の後に zoom での「質問コーナー」を設置し、顔を合わせる機会を設けることにしました。

・「ほぼ全ての科目から課題が出ている中、特に Reading の授業に関しては課題の量が多すぎた為、一つ一つを丁寧にこなすのが難しくなってしまったので、課題の量と内容を改善して頂けたら幸いです。」

とのコメントがあった。後期には、予習の締め切りを延長し、多読の目的が視覚的にわかるように提示するなど、各自のスケジュールにあったかたちで無理のないように進められるよう、奨励していきたい。

・授業の進度や今後の授業スタイルなどに関するアンケートを Google Forms で取りました。アンケートの中で学生から具体的な希望・要望が出て(授業から課題を出してほしいなど)、色々教えてもらい非常にありがたかったです。後期はそれらを取り入れ、改善できました(つもりです)。

・授業外学習の促進と学生同士の交流を狙って、Reading 課題と称して、Google classroom のストリームに各自が選んだネット記事などを投稿してもらい、それに関するコメント、返信を課したところ、課題のために英語サイトに行く機会が増えた、などという肯定的な意見がありました。後期も同様のことをしようと思っております。

・遠隔授業という初の試みであったが、毎回全員が予習をこなし、Zoom によるオンライン授業に出席していました。チャットや Google Classroom のコメントからは意欲的な質問が寄せられ、テキストと向き合っている様子がうかがえました。今回のアンケートの回答は、受講生 28 名中 16 名から寄せられた結果であり、総意としてとらえるには少ないように思われます。対面での授業とは異なり、直接反応をみることがかなわないため、常日頃、要望などを聞きながら進めていくよう心掛けたいと思います。

・設問 3、4 から、シラバスについての満足度がいつもより低かった点に気づきました。前期の遠隔授業では若干進度が遅くなり、スケジュール通りに進むことができなかつたので、後期はテキストを再確認して授業で扱うチャプターを絞りました。遠隔授業では、全体的に学生が非常に集中していて質問も多くなり、授業へ参加する姿勢が熱心です。理解度が高まった様子がアンケートからうかがえて良かったと思います。また、評価がレポートになったことで関心のある本や英文記事を探して読む時間が増えたようで、それが問題意識の高まりや満足度の増加の要因にもなっていると感じました。テンポよく授業ができるかどうか初めは不安でしたが、思いのほかやりとりがスムーズにできて、コミュニケーションの点で今のところ問題がないように感じます。また、Google classroom の活用により、期末に提出されるブックレポートなどをすぐに返却できるようになったので、対面授業になっても利用したいと思っています。

・ With remote teaching I took the opportunity to use a flipped classroom approach in this class, so students were expected to complete the work in the textbook, such as answering comprehension questions, learning new vocabulary etc outside of the class time, enabling us to have more time in class for language production through a variety of speaking activities and tasks. I am glad that the student specifically mentioned that in her comment and I will continue to give students ample time for discussion in this semester's classes.

・ I will try to arrange groups in advance to allow for an even amount of time spent in discussion and doing activities with a familiar group and new group members.

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2022 年 2 月 24 日

■検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：第二外国語運営委員会

■責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：委員長 白井恵一

■検討会実施日 2020 年 10 月 27 日

■出席者数 6 名（内、非常勤講師 0 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

遠隔授業への対応は概ね好評でしたが、

①授業や課題提出で用いる遠隔ツールの種類の多さや、担当教員毎に用いるものが違うことに対する戸惑いの声もありました。今後は整理して、できるだけ統一するようにします。

②参考資料等について、従来よりいっそう充実したという感想がある一方で、「多すぎて読み切れない」、「優先順位をつけてほしい」という要望もありました。遠隔授業の場合、これまでの対面授業に比べて資料が多くなる傾向があると思います。不要なものが入っているわけではありませんが、一定の量的な配慮をし、今後は整理していくつもりです。

③課題についても②と同様、充実したという評価がある一方で量的に過多であるとの意見が多くあります。遠隔授業の場合課題が多くなるという一般的な傾向があると思います。今後は適正量を検討します。

④zoom などによるリアルタイムの遠隔授業の場合、対面授業に比べて、担当教員と学生、学生同士の口頭のコミュニケーションがとりにくいという意見がありました。今後の検討課題とします。

⑤その他、遠隔授業導入が初めてということもあり、様々な混乱がありましたが、今後は担当教員の技術向上を図っていきます。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

①復習で自習できるような、授業に関する文書の補助資料が欲しいという要望については、遠隔授業の導入によってかなり改善されたと考えています。一方で「量や種類が多すぎて読み切れない」という意見がでてきています。「適正な量」については試行錯誤が必要になりますので、今後状況をみながら随時対応してゆきます。

②授業の課題や、小テストについても①と同様です。

③授業進行の速さについては、対面と遠隔授業でかなり大きな違いがあるというのが実感です。従来の対面授業から得られた経験の蓄積と、遠隔授業に伴って導入された新たなノウハウをどのように適切にマッチングさせるかについては、授業支援ツールの利用技能の向上とあわせて今後の課題です。

④口頭のコミュニケーションの実践の繰り返し、語学習得の要のひとつですが、教室で対面で行う授業で得られるほどのパフォーマンスは、今のところ遠隔では得られていないと考えています。これについても今後の検討課題です。

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020 年 11 月 12 日

- 検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：日本語科目運営委員会
- 責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：熊谷 智子委員長
- 検討会実施日 2020 年 10 月 10 日～30 日
- 出席者数 7 名（内、非常勤講師 5 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

- 「カメラは任意とのことだったが録画していないのであれば、任意でなくてもよいのではないかと思います。カメラオンを強制されていた方がブレイクアウトルームでの話し合いもしやすいと思う。」という意見をいただきました。この件（ブレイクアウトルームにてカメラオンを推奨）は後期にて採用したいと思えます。前期の授業形態として、通信トラブルで途中授業が受けられなかった方のために、講義は zoom の録画機能で録画し、（途中ブレイクアウトルームでのディスカッションは録画しない）としていました。「講師以外はカメラは任意」としましたが、実際はオフされた状態がほとんどでした。カメラをオフしたままでもよしとしていた理由は、①事前授業研修で、限定とはいえ録画公開にあたり、配慮が必要と教えていただいたこと、②社会的にもデータダイエット（オンライン授業は通信量（データ量）が極力小さくなるように工夫するよう）が依頼されていたためです。ただ、ご指摘のように、表情が見えた方がディスカッションは効果的であると思われまますので、後期はブレイクアウトルームではカメラをオンにするようすすめていきたいと思えます。
- アンケートに協力くださった皆さん、ありがとうございました。各設問の授業別平均値では全項目において全体平均を上回っていました。慣れない遠隔授業というなかでも、履修者の皆さんが積極的に授業に参加して下さった結果だと思えます。

自由記述欄には 6 名の方からコメントがありました。

- ・ 1 番実用的で建設的な良い授業でした。
- ・ この授業を受けたことで、論理的文章を書けるようになりました。この授業を受けてよかったです。
- ・ 私はレポート論文を書くことが乏しかったのですが、授業を毎回受けて自分の実力がついてくることを実感できました。フィードバックが徹底されており、とてもわかりやすく、自分のモチベーションにつながりました。ありがとうございました。
- ・ この授業で学んだことをこれからも活かしていきたいと思えます。短い間でしたがありがとうございました。
- ・ オンライン授業という様々な弊害がある中で、私たちが理解を深められるよう 2000 字課題の前にお互いに意見を出し合う時間を設けて頂いたことは、非常に有難く、手助けになりました。
- ・ 毎回の課題は大変でしたが、文章を書く力が本当に伸びたと思えます。先生が毎授業、笑顔で授業をして下さったので、楽しく学ぶことが出来ました。また、質問をしたらとても丁寧に返して下さい、理解度がより深まりました。

授業に対する評価やコメントを拝見し、自身の授業を客観的に振り返ると共に励みにもなりました。突然の遠隔授業というなかで教員側も手探り状態でしたが、履修者の皆さんが自ら授業や課題に主体的に取り組み、授業に参加して下さったことで、それぞれの文章表現力向上に繋がったのだと思えます。

本科目の目的の一つに総合的なコミュニケーション・スキルの習得があります。授業では Zoom のブレイクアウトセッション機能を用いることでグループワークを行いました。他者の意見を知ることが、新たな視点に気づき、自分の考えを深めることに繋がります。前期の遠隔授業では限定的となっ

てしまいましたが、今後の学生生活、そして社会生活において、本授業で学んだことを活かしていただきたいと思います。

- 「レポートのスキルを学ぶことができて良かった」「毎回の授業がとても楽しみであったという間でした」「文章を書く能力が上がったと思います」という意見を嬉しく拝読しました。また、ブレイクアウトセッションで先輩と同じグループになると気を遣ってしまい、会話が弾まなかったというご意見をいただきました。通常授業ですと、先輩からの意見を聞いて勉強になった、先輩のレポートが素晴らしくさすがだと思った、など、先輩から学ぶことが多いという好意的なご意見が多かったのですが、今回はオンライン授業だったため、その点で委縮してしまう方がいらっしまったようです。今後、オンライン授業を行うことがありましたら、後輩と先輩が上手く交流できるように工夫したいと思います。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- 前期は受講者のカメラ使用は任意としていましたが、表情が見えた方がディスカッションは効果的であると思われるので、後期はブレイクアウトルームではカメラをオンにするようすすめていきます。
- 今年度も全項目の平均値において全体より高い評価となりました。課題に対する個別のフィードバックは Google Classroom の個別コメント機能やルーブリックを用いましたが、遠隔授業であるからこそ一層丁寧に伝えていくように留意したいと思います。また、これまでの対面授業のみでなく、今回の遠隔授業で得た経験も活かして、柔軟な授業運営に努めていきます。
- 教材やプリントの内容が適切だったか、という項目にお一人だけ「あまりそう思わない」とご回答されていました。コメントがなかったので真意はわかりませんが、教科書を使わず、プリントのみで授業を行ったので、教材らしい教材がないことにご不満だったのかもしれませんが。次年度以降も特定の教科書は使用しない予定ですが、参考書などを適宜ご紹介していこうと思います。

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020 年 11 月 16 日

■検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：情報処理教育運営委員会

■責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：春名 太一委員長

■検討会実施日 2020 年 10 月 21 日

■出席者数 4 名（内、非常勤講師 0 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

- ・ オンデマンド型で行いましたが、皆さんから、特に、毎回の授業の資料と一緒に私の 1 週間の出来事や思いをコラムにしてお届けしたことを喜んでいただきました。今後も、オンデマンド型の授業であっても、きちんとクラスがあること、担当教員が存在していること、を感じられる工夫を考えていきたいと思えます。
- ・ 「質問に対するフィードバックがあったのが良かった」という意見がありました。できるだけわかりやすい授業を心がけていますが、全員がすべてのことをきちんと理解できるわけではないと思えます。ですので、わからないことは遠慮なく質問してください。その質問に対するフィードバックは、できる限り行います。
- ・ 「スライドの間違いを減らしてほしい」という意見がありました。確かに前期は少し多かったと思うので、今後注意していきます。
- ・ オンデマンド型で行った授業について、「Zoom でも授業をやってほしかった」という意見がありました。オンデマンド型を選択した理由には三つの理由があります。まず、他の多くの授業は Zoom などを用いた同時双方向型のオンライン授業を行うであろうとの予想から、慣れないオンライン授業でできるだけ受講者の皆さんの健康を害することが無いようにと考えたことが一つ目の理由です。また、同時双方向型の授業を受講するには通信環境を十分に整える必要がありますが、それが難しい受講者の方に対する配慮が必要と考えたことが二つ目の理由です。最後に、科目の内容に関する受講者の予備知識やスキルの初期値にばらつきが大きいことが期待されるため、各自のペースで学習できるというオンデマンド型の利点が活かされる科目であろうと考えたことが三つ目の理由です。「授業改善等に向けた具体的な方策」に記述していますが、来年度以降にオンライン授業を行うことがある場合には Zoom などを用いた同時双方向型の授業形態を採用する予定です。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- ・ 今年度はオンデマンド型で行った授業について、仮に来年度以降にもオンライン授業を行うことがある場合には、今年度の経験から学生の皆さんのオンライン授業に対する準備は十分にできていると期待できるので、同時双方向型を中心とする授業形態に切り替える予定です。

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020 年 11 月 18 日

■検討組織名（学科・専攻、研究所、科目運営委員会等）：教職課程運営委員会

■責任者名（学科・専攻主任、所長、委員長等）：大家まゆみ

■検討会実施日 2020 年 10 月 30 日

■出席者数 3 名（内、非常勤講師 1 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

・「授業内テストの時間制限があまりにタイトで大変だった」「タイピングが慣れておらず時間がかかるため、解答時間が短かった」というコメントがありました。教室での対面式授業で行なっていた「授業内テスト」の時間より長めにとりましたが、キーボードの操作に個人差があることを考慮していなかったのは反省点です。スマホのタップ（フリック入力）に親しんでいることが、キーボード操作の不慣れを引き起こしているということだと思いますので、その点も含めて授業での指導を心がけたいと思います。

・「オンラインでありながらも先生とのやり取りもできてよかった」というコメントがありました。オンライン式授業は私たちも初めての経験であり、どうすれば教室での対面式授業に劣らない効果を上げられるか試行錯誤しながら苦闘しています。学生とのやり取りが好評であることが分かったので、さらに充実させていきたいと思います。オンライン式授業の利点欠点について、学生からの率直な意見を今後もぜひ伺いたいです。

・「パワーポイントなどで写した資料を WebClass 等に掲載してほしい」というコメントがありました。技術的な面も含めて検討してみます。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

・設問 2「この授業の学習時間は、授業を受講した時間を含め、1 週間当たりどの程度でしたか」の「平均時間」を 2 年前(2018 年度前期)と比較すると減っていました。従来、この授業ではグループ発表を課しており、授業外にメンバーで集まって検討する時間がかなりありましたが、今年度は初めてのオンライン式授業だったこともあって、グループ発表を取りやめたことが原因だと思います。グループ発表をやめたことが授業外学習の時間減少につながったのだとすれば望まし事とは言えないので、今後は工夫をしようと思います。

・設問 8「教科書やプリント等、授業で用いられた教材の内容は適切でしたか」の評価が平均値より低かったなので、より関心を持ってもらえるような内容に改めるようにします。

「2020 年度前期 学生による授業評価」に関する検討会 報告書

報告日：2020 年 11 月 13 日

- 検討組織名 (学科・専攻、研究所、科目運営委員会等)：学芸員課程運営委員会
- 責任者名 (学科・専攻主任、所長、委員長等)：高橋 修
- 検討会実施日 2020 年 10 月 23 日
- 出席者数 3 名 (内、非常勤講師 2 名)

1. 学生へのフィードバック (学生の要望に対する具体的な回答)

- 授業の要所ごとに Zoom のチャット機能を用いて理解を確認する機会や質問の機会が設けられていたので、積極的に授業に参加できたという意見がありました。大勢の人前で話しをすることに苦手意識を持った学生にとって、チャットであれば気軽に意見を述べ易い、質問をし易いものと考えられます。チャットからの意見によって授業内容を膨らませたことが何度もありましたので、これからもチャット機能を生かした授業を展開します。
- 授業ごとに課題提出を要求したことに対し、復習に役立ったという意見がありました。メール等を活用することで、課題の提出や添削等のフィードバックも容易となりました。結果的に、課外学習に取り組む時間が増えることとなりました。

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

- 将来のロールモデル構築の参考として、文化施設に勤務する本学卒業生の動向等について紹介する『教職・学芸員課程研究』を 2017 年度より発刊しています。課程履修上の参考として授業内でも当該誌について取り上げ、履修学生の意識啓発に努めています。
- 遠隔授業の導入に伴い、課題内容もそれに合わせたものとして工夫を加えました。博物館のホームページ、年報・ちらし等の PDF データ、YouTube 紹介動画などの閲覧を課題として出すことで、博物館の運営課題について現場の実情に即して理解するきっかけとしています。

報告日：2021 年 11 月 26 日

- 検討組織名：女性学研究所
- 責任者名：女性学研究所 所長 唐澤真弓
- 検討会実施日 2021 年 11 月 24 日
- 出席者数 6 名（内、非常勤講師 2 名）

1. 学生へのフィードバック（学生の要望に対する具体的な回答）

2. 授業改善等に向けた具体的な方策

女性学・ジェンダー関係科目全体として、全科目の回答傾向とくらべると、肯定的な評価が多くなっています。全体と比べて、「設問 1 出席率」は高く、「設問 3 シラバスに基づく展開」「設問 4 シラバスの有効性」「設問 6 授業の内容理解」「設問 8 教材の内容の適切さ」「設問 12 対象とする分野への問題意識や関心が深まる」5 項目は、全体と比べて評価点 4、および評価点 3 と 4 の合計が高い項目でした。女性学・ジェンダー科目への学生の学習意欲が高く、教員はそれに応えるべく、授業教材や内容を工夫し、その結果学生の問題意識を高めることに効果をみる事ができたと考えています。ただ、これまで高い評価を得ていた、「設問 5 授業の準備計画性（95.8%と 94.1%）」、「設問 9 受講者の理解の程度への点検・配慮（88.6%と 86.3%）」、「設問 10 授業運営の適切性・公正性（質問の機会等）（93.3%と 94.1%）」については例年と比べて、全科目の回答とほぼ同じでした。遠隔授業開始時の混乱や授業の運営形態の変更によって、学生のネット環境などへの配慮や質問に対し、これまで高評価を得ていた女性学・ジェンダー科目であっても、教員側に大きな困難があったことと理解しています。遠隔授業における学生との交流について、リアクションペーパーやチャットをより効果的に使用するなど、学生との交流を工夫していきます。

また、前年度は教室外学習の時間が増えていましたが、今年度は設問 2(教室外学習の時間)について、改善はみられませんでした。設問の違いがあり、直接の比較は難しいですが、授業形態の違いや遠隔授業の疲労を回避するため、授業時間が短くなっていたことなども理由の一つかもしれません。今後より詳細な分析を行い、学生の学びを促進する工夫を検討していきます。